

令和4年度 文京区立明化小学校 授業改善推進プラン

算数科

	児童の実態	指導のめあて	具体的な授業改善の方法	2学期評価	3学期評価
三年	<ul style="list-style-type: none"> ○意欲的に学習に取り組み積極的に発言する児童が多い。 ○算数を楽しく学んでいる。 ○「かけ算」「たし算・ひき算の筆算」「わり算」の、計算問題は全体的によくできている。 ○「たし算・ひき算の筆算」「時刻と時間の求め方」「あまりのあるわり算」等の単元において、特に思考力を問われる問題については、理解の差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に学習に取り組む児童を育てる。 ○基礎的・基本的な学習内容を定着させる。 ○題意を正しく理解し、解決できる児童を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○既習内容を生かしたり、絵・図・数直線・線分図や表など多様な方法で解決したりする学習を積み上げることで学習問題の解決の仕方を身に付け主体的に取り組めるようにさせる。 ○定着状況が不十分な児童に対してはベーシックドリル、教科書の復習部分を活用して既習内容から単元を構成し、細やかな個別支援を行う。必要があれば時間外の個別指導を行う。 ○解決計画を丁寧に行い、既習問題との違い、題意を捉えられるようにする。 		
四年	<ul style="list-style-type: none"> ○意欲的に学習に取り組み積極的に発言する児童が多い。 ○一方、学習理解では差が大きい。 ○題意を正しく捉えられず立式することができない児童がいる。 ○三角定規や分度器等の器具の正確な使い方や読み方の理解について差が激しい。 ○「大きい数のしくみ」「わり算の筆算」の思考力を問われる 	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に学習に取り組む児童を育てる。 ○題意を正しく理解し、解決できる児童を育てる。 ○器具を正確に使い、正しく読み取ることができるようにする。 ○基礎的・基本的な学習内容を定着させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○レディネステストを踏まえ、個々の学習の状況に応じて解決の糸口や見通しがもてるような指導を行い、児童が主体的に取り組むようにさせる。 ○前学年までの基礎的基本的な学習内容が不十分な児童に対してはベーシックドリル、教科書の復習部分を活用し、家庭学習と連携して、細やかな個別支援を行う。必要があれば時間外の個別指導を行う。 		

	問題については理解に差があり苦手とする児童が少なくない。		<ul style="list-style-type: none"> ○解決計画を丁寧に行い、既習問題との違い、題意を捉えられるようにする。数直線をかき習慣をつける。 ○算数的活動を多く取り入れ、図形概念を実感させる図形をたくさんかかせる。 		
五年	<ul style="list-style-type: none"> ○意欲的に真面目に学習に取り組む児童が多い。自分の考えを相手に伝わるように話そうとする児童が多い。 ○題意を捉え正しく立式することができない児童がいる。 ○「比例」への関心が高く、どの単元も全体的によくできている。 ○進んで難しい問題に取り組む児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童にとって、分かりやすく興味深く継続して取り組むことができる問題の設定や学習の進め方を考える。 ○基礎的・基本的な学習内容を定着させるとともに、式に表す前に問題の意味を数直線や線分図や図に表すなどして、確実に式を立てることができるようにさせる。 ○題意を正しく理解し、解決できる児童を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○答えだけでなく、根拠も言うようにさせる。 ○苦手な児童に対してはベーシックドリル、教科書の復習部分を活用して、既習内容から単元を構成し、細やかな個別支援を行う。必要があれば時間外の個別指導を行う。 ○解決計画を丁寧に行い、既習問題との違い、題意を捉えられるようにする。数直線をかき習慣をつける。 ○算数的活動を多く取り入れ、図形概念を実感させる。図形をたくさんかかせる。 		
六年	<ul style="list-style-type: none"> ○真面目に学習に取り組む児童が多い。一方、学習理解では差が大きい。 ○題意を捉え正しく立式することができない児童がいる。 ○既習事項を使って自力解決することが難しい児童がいる。 ○「分数のかけ算」は全体的によくできている。 ○進んで難しい問題に取り組む児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的・基本的な学習内容を定着させる。 ○題意を正しく理解し、解決できる児童を育てる。 ○論理的に考え、発表できる児童を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○考える時間を確保し、答えだけでなく、根拠もわかりやすく言えるようにさせる。 ○苦手な児童に対してはベーシックドリル、教科書の復習部分を活用して、既習内容から単元を構成し、細やかな個別支援を行う。 ○解決計画を丁寧に行い、既習問題との違い、題意を捉えられるようにする。数直線をか 		

	○「対称な図形」は理解の差が大きい。		く習慣をつける。		
--	--------------------	--	----------	--	--